



子ども観光ガイド育成塾 ~津山まなびの鉄道館編~

1日目が開催されました！

8月23日津山の素晴らしい文化財や観光資源を、「見て、聞いて、調べて」観光ガイドにチャレンジするつやま観光ガイド育成塾が開催されました。

今年度は津山の鉄道遺産をテーマに5回シリーズで開催されます。

1日目は、津山まなびの鉄道館を会場として、鉄道の歴史や地域で果たした役割などについて学んだ後、機関車庫やジオラマなどを見学しました。

津山のまちや津山駅全体を見ると、なぜここに駅ができたかがよく分かります！



学びの振り返り

・車庫が扇形である理由や、津山駅ができた経緯がよく分かった。鉄道の役割・歴史についてもよく分かった。

・津山線の歴史や岡山の鉄道がどのように発展していったのかよく分かった。

・列車が動く仕組みや車両を回転させる工夫が分かった。鉄道館にある車庫や転車台は津山の宝物だと思うので、みんなに詳しく伝えられるようになりたい。

Qの答え ①広く安く使うことができる土地があったから。 ②蒸気機関車に使用するのに必要な水を、吉井川から引いてくるのに都合が良かったから。

発表したよ！



分かるかな？

Q 明治30年、津山線は岡山2番目の鉄道として岡山駅から津山口駅まで開業しました。その後、津山駅まで延長しました。なぜ延長したのでしょうか？理由は2つありますよ。



しっかり学びました！

